

男女共同参画都市かごしま宣言について

1 男女共同参画都市かごしま宣言

- (1) 平成13年1月30日に、鹿児島市長が、男女共同参画都市かごしま宣言を行った。この宣言の中に、「ジェンダー・フリー」という用語が使用されている。

(男女共同参画都市かごしま宣言) (抜すい)

1. 性別による固定的役割分担意識を改め、男女に不均衡な制度・慣行を見直し、ジェンダー・フリーな社会をめざします。

2 「ジェンダー・フリー」という用語の使用について

- (1) 平成26年2月25日の鹿児島市議会本会議で、男女共同参画都市かごしま宣言から「ジェンダー・フリー」を削除することへの決意を示せとの質疑があった。

(市民局長答弁)

宣言につきましては、学識経験者や公募市民から構成される起草委員会により作成されたものであることから、条例で設置を予定している「男女共同参画審議会」の意見をお聞きしてまいりたいと考えております。

- (2) 平成18年1月31日 「ジェンダー・フリー」についての内閣府男女共同参画局の事務連絡

2 「ジェンダー・フリー」については、この用語をめぐる誤解や混乱を解消するため、(基本計画において、上記のとおり記述されたところであり、) 地方公共団体においても、(このような趣旨を踏まえ、) 今後はこの用語は使用しないことが適切と考えます。

- (3) 平成19年3月 第1次鹿児島市男女共同参画計画の改訂に当たっては、「ジェンダー・フリー」については、本市のこれまでの趣旨を変えずに、別な用語に置き換えた。

(第1次鹿児島市男女共同参画計画 計画期間：平成14年度～平成23年度)

改訂前：基本目標Ⅱ 「性別による固定的な役割分担意識のないジェンダー・フリーな社会」

施策の方向(2) 「ジェンダー・フリーを目指した教育・学習の推進」

改訂後：基本目標Ⅱ 「性別による固定的な役割分担意識のない男女共同参画の視点に立った社会」

施策の方向(2) 「男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進」